

に、○中法皇河白も、院羽鳥も、みやこのうちには、ひとつ御車にたてまつりて、新院○崇御直衣に紅の御ぞいださせ給て、御馬にたてまつりけるこそ、いとめづらしく、急にもか、まほしく侍けれ、二條の大宮の女ばう、出し。車に、菊もみちの色々なる衣どもいだしたるに、うへ下に白き衣を重ねて、ぬひ合せたれば、ほころびは多く、縫めはすくなくて、あつきぬの綿などのやうにて、こぼれいでたるが、菊紅葉のうへに雪のふりおけるやうにて、御つくるま立つ、侍りけるこそ、いと所多く侍りけれ、

〔兵範記〕嘉應元年十月廿日壬寅、入夜齋王、自大炊御門亭行啓卜定所、○中出車五兩、○中女房廿人、出白衣袖妻等、蘇芳衣、濃袴、

〔玉海〕承安二年七月廿一日戊子、今日攝政○藤原基房若君、被參女院、余○藤原兼實依物忌不指出、其儀以傳説聞之、

唐車、出紅衣車副六人、白襖上下、濃打衣、出車五兩、檳榔毛、出女郎花衣、治承四年六月二日癸未、卯刻行幸於入道相國、○平清盛福原別業、○中先入道相國駕屋形輿、

次女車一兩、次女房輿二二品及攝政之室家云々次行幸鳳登、中略次御幸○中次出車二兩、次前大將宗盛卿駕手輿、今夜就大物、明曉御福原、

建久二年四月廿日丁酉、此日賀茂祭也、○中未始、宮女房并家女房等、密々向棧敷見物、大將相伴之、余同竊雖欲見物、昨今春日、恠異物忌也、仍不向之、二位最密々見之、棧敷光長卿儲之、先宮御方出車、

三兩、左少將定國、同少將定家、右少將高次、内半物車、侍一人、次此方女房出車二兩、前兵部大輔能通等車也、車副布衣侍二人、相具之、七年三月二日壬午、内大臣○藤原來、薄色奴袴、先寄、

出車、東對北妻也、能季、三兩皆乘之、出衣如恒、柳櫻五領、紅單衣、紅打衣、一車左中將親能朝臣、二車左少將成家朝臣、三車侍從頼房等也、